

住民避難に向けて

都道府県知事（土砂災害の急迫した危険が予想される降雨量（危険降雨量）を事前に設定）

降雨量が危険降雨量に達したとき

通知

都道府県知事
気象台

市町村の長

知らせる努力

ハザードマップの作成・公表

防災訓練・防災教育の実施

土砂災害警戒区域等の認知度の向上

避難指示

土砂災害警戒情報
（土砂災害防止法第27条）

※都道府県知事と気象台が連名で発表

周知

知る努力

リスク情報、気象情報等の収集

地区防災計画の策定

マスメディア等

住民

避難の
声かけ

安全の
確認

避難行動

テレビ
（テロップ、ニュース速報）、
ラジオ、インターネット、
メール（プッシュ型）等

住民避難に向けて(知らせる努力)

知らせる努力(市町村等→住民)

【ハザードマップの作成・公表】

ハザードマップを作成し公表することで、土砂災害に対する住民の関心・理解及び危機意識を向上させる



【防災訓練・防災教育】

住民参加型の防災訓練の実施やパンフレットの作成を通じて、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識を向上させる

安否確認訓練状況



長野県飯田市

避難所への移動訓練実施状況



広島県江田島市

令和元年「土砂災害・全国防災訓練」(R1.6.2より)

防災知識普及のための媒体

【土砂災害警戒区域等の認知度の向上】

普段の生活の中で人目に付く箇所に標識、看板を設置することで、土砂災害に対する認知度を向上



岐阜県



新潟県

住民避難に向けて(知る努力)

知る努力(住民)

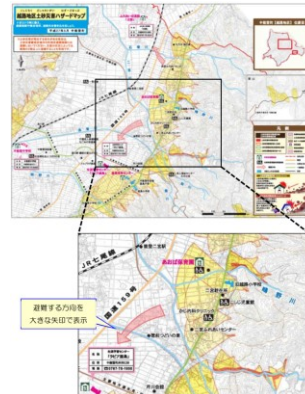
【防災教育・講習会への参加】

自治体等が実施する防災教育・講習会に参加し積極的に、参加し、土砂災害の恐ろしさ等を学ぶ努力。



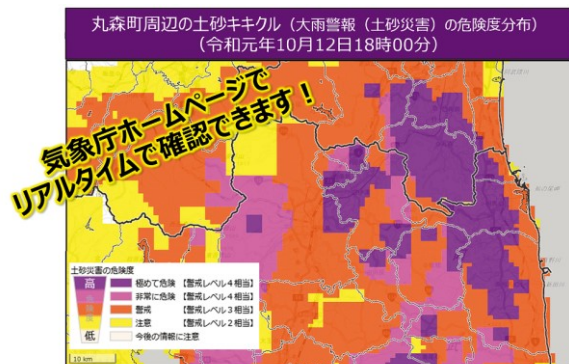
【防災訓練への参加】

住民参加型の防災訓練の実施やハザードマップを通じて避難ルート・移動手段・時間等を事前に確認する努力。



【気象情報の収集】

各種メディアから防災に関する情報を収集するなど、自ら避難を判断するための情報を収集する努力。



気象庁HP「土砂キキル (大雨警報 (土砂災害) の危険度分布)」
<https://www.jma.go.jp/bosa/risk/#elements/land/>

【地区防災計画、ハザードマップの作成】

住民等が自主的に地区の防災計画(素案)を策定し、市町村へ提案する。避難時の周辺の危険性を知る努力。



住民避難に向けて(地区防災計画の作成事例)

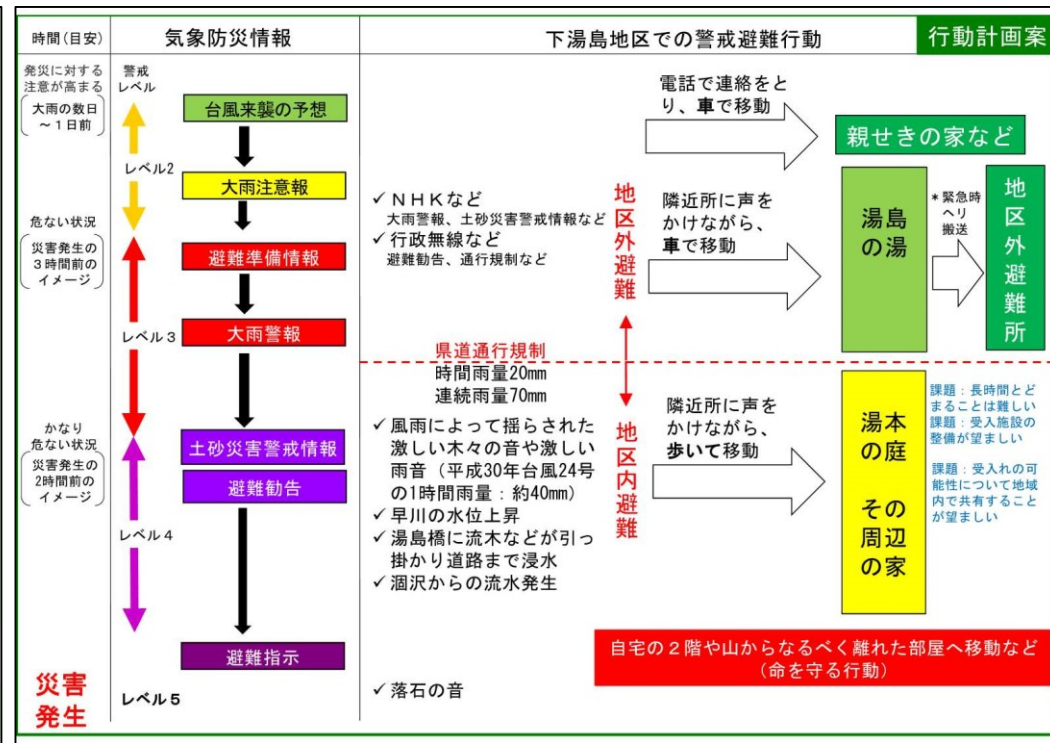
知る努力(住民)

住民等が自主的に地区の防災計画(素案)を策定し、市町村へ提案する。地区住民自らが、避難先・避難時のルール等を事前に取り決め、非常時に何をなすべきか考え、要配慮者等へ声かけし、避難が出来る体制を構築する。

作成事例(山梨県早川町下湯島地区)



防災マップの作成



避難行動計画の作成

住民避難に向けて(市町村、住民相互の連携事例)

知らせる努力(市町村等→住民)



知る努力(住民)

土砂災害HM等を活用した地域防災力向上のための取組【大分県】

【主な内容(県・市町村合同の取組)】

- 土砂災害から命を守る避難行動につなげるために、行政と住民が一体となって取り組む行動計画を整理した「土砂災害避難促進アクションプログラム」を平成31年3月に策定。
- アクションプログラムのうち『地域の防災リテラシーの向上』のための取り組みとして、土砂災害専門家(砂防ボランティア)を派遣し、防災講座の開催や土砂災害ハザードマップの再点検及びタイムラインの作成、それらを活用した避難訓練を支援。

【取組した結果やわかった課題等】

- 他のハザード(地震・津波・浸水など)を踏まえ、関係部局との役割分担や連携が課題。

「住民主体」で地域のリスクや課題、行動計画を整理

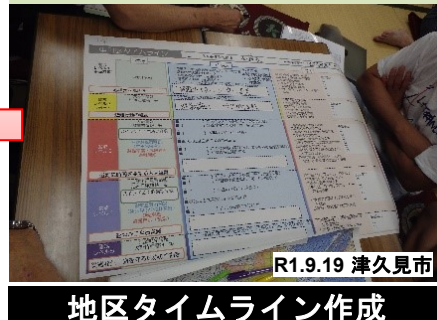
・危険箇所、避難経路の把握



・危険箇所、避難経路の現地確認



・時系列で整理した行動計画を作成



地域の実情に応じた訓練

・避難行動要支援者の避難誘導等



▲土砂災害専門家(砂防ボランティア)を派遣し、住民・市町村を支援